

マスコミ関係各位

2016年2月22日

「妊娠と出生前検査の経験に関する調査研究会」主催シンポジウム

妊娠と出生前検査のいま

—女性の経験から産婦人科医療における情報と選択を考える—

3月6日(日)開催 入場無料

明治学院大学社会学部の柘植あづみ教授が代表を務める「妊娠と出生前検査の経験に関する調査研究会」が公開シンポジウム「妊娠と出生前検査のいま—女性の経験から産婦人科医療における情報と選択を考える—」を3月6日(日)に港区立男女平等参画センターで開催します。

本シンポジウムでは、研究会が行った全国の妊娠経験のある女性への調査から妊娠と出生前検査をめぐる女性の経験と意見を紹介するとともに、産婦人科医・臨床遺伝専門医、遺伝カウンセラーから出生前検査をめぐる医療の状況についてお話しいただきます。また、妊娠と出生前検査をめぐる状況が日本とは異なるイスラエルと韓国の状況についてお二人の講師に紹介していただきます。

ぜひ本シンポジウムの告知ならびに取材をご検討ください。どうぞよろしくお願いいたします。

※本シンポジウムは、学術振興会・科学研究費補助金の助成を受けています。

(「医療技術の選択とジェンダー —妊娠と出生前検査の経験に関する調査」研究課題番号:25283017)

妊娠と出生前検査のいま —女性の経験から産婦人科医療における情報と選択を考える—

■日時: 3月6日(日) 13:00~17:00 (開場:12:30)

■場所: 港区立男女平等参画センター リーブラ(1階ホール) ■入場・資料代: 無料

■プログラム: 第1部 妊娠と出生前検査:医療の現状と女性の経験に関する調査結果

山中美智子氏(聖路加国際病院・産婦人科医・臨床遺伝専門医)、井原千琴(遺伝カウンセラー)、菅野摂子(電気通信大学・教員)、白井千晶(静岡大学・教員)、田中慶子(家計経済研究所・研究員)

第2部 海外の状況を知って日本の状況を考える

イヴリー・ツイピ(Ivry Tsipy)氏(イスラエルハイファ大学人類学部上席講師、人類学博士)、洪賢秀(Hong, Hyusoo)氏(東京大学医科学研究所特任助教、文化人類学博士)

総合討論 (司会 柘植あづみ)

■主催: 「妊娠と出生前検査の経験に関する調査研究会」(代表:柘植あづみ 明治学院大学社会学部教授)

■申込み: こくちーズ(<http://kokucheese.com/event/index/364081/>)にて事前申込み。先着150名。

■お問合せ先: 妊娠研究会 info.ninshin@gmail.com までお問合せください。

取材のお問い合わせは…明治学院大学 総合企画室広報課 担当:田村・染川

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>